

## 「台所でスライサーによるけがに注意！！」

【事例】ニンジンのスライス中、親指と中指の腹が削げて、全治1ヶ月と診断された。野菜が小さくなったら使用する安全ホルダーはついていたが、まだニンジンは半分程度だったので、ホルダーは使っていなかった。(30歳代・女性)

【対処法】①商品の注意書きには、「野菜が小さくなったら安全ホルダーを使うように」という表示がありました。しかし、野菜の種類と大きさによっては、安全ホルダーの使いやすさに差が出ます。②スライサーは「刃物」の一種であることを忘れず、手元から目を離さないようにして、油断せず注意深く使用するようにしましょう。③特に野菜が小さくなった場合には、必ず安全ホルダーを使用して、無理にスライスを続けず、包丁で処理するほうが安全です。

※何か問題が起こったら、企画課の消費相談窓口で相談しましょう。

平日：役場企画課 TEL 82-1115 土・日：鳥取県消費生活センター TEL 0859-34-2648

vol.45  
こんにちは！  
消費生活相談員です

1  
8  
8

※困った時には、消費者ホットライン。局番なしで

イヤヤ

188「泣き寝入りはイヤヤ！」に電話してください。

これまでの0570-064-370も使えます。



名島ゆかり  
相談員

## 「日野高校」の取組み

日野郡3町では、郡内唯一の県立高校である日野高校を地域の教育の核とするために、10月に「日野高校魅力向上推進協議会」を設立し、キックオフイベント「地域に貢献する人材を育てるために～地域×教育の可能性」をテーマに12月16日にシンポジウムを開催し、県内外から約120名の聴衆を集めました。

シンポジウムでは、「地域リーダー人材育成事業」として和歌山大学との交流事業を続けてきた成果を発表。自分たちに何が出来るかを考え、「SNSを使って日野郡をPRする部活を作る」など具体的な提言を行い、高校生目線の新鮮な意見が聴衆の共感を呼びました。

パネルディスカッションでは、県内外の専門家が地域に人材を残すために、地域社会、行政、そして

教育機関がどう関わるかを議論し、「ふるさとに誇りを持つ人間を育てること」が一番重要だと言う意見が出されました。



▲シンポジウム

高校生が地域の中で活動し、そこから得た知識を地域に還元することで新たな気づきが生まれました。これからも、地域に開かれた高校として、多くの地域人材を輩出して頂くことを期待したいと思います。地域の皆さまも、日野高校を応援して下さい。

## ☆☆子育て支援センター通信☆☆

Vol. 142



『学童保育の冬休み』  
長期休業になると、高校生・大学生がボランティアで遊びに来てくれます。子ども達も楽しみにしており、今回のお休みでも宿題を見てもらったり、一緒に思い切り遊び、笑顔と歓声が溢れていました。



『学童保育の冬休み』

長期休業になると、高校生・大学生がボランティアで遊びに来てくれます。子ども達も楽しみにしており、今回のお休みでも宿題を見てもらったり、一緒に思い切り遊び、笑顔と歓声が溢れていました。

福寿実 土山 愛

